

分散型エネルギープラットフォーム の取組みについて

令和元年12月6日

経済産業省 資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 政策課

経済産業省、環境省連携チームの発足

- 経済産業省資源エネルギー庁及び環境省により「**地域循環共生圏の形成と分散型エネルギーシステムの構築に向けた連携チーム**」を発足。

(平成31年4月12日報道発表)

共同チーム長 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長
環境省 大臣官房 政策立案総括審議官

<連携チームの検討テーマ>

エネルギー基本計画や環境基本計画を踏まえ、
地域循環共生圏の形成と分散型エネルギーシステムの構築の両者に有効な政策について、
以下のようなテーマで検討することとし、
今後の政策（予算要求、税制改正要望、制度、運用等）に反映することを目指す。

- (1) 共同実証事業等を通じた**地域での分散型エネルギーシステムの構築**
- (2) **再生可能エネルギーの主力電源化**の実現に向けた**コスト低減、地域への普及拡大、環境アセスメントの効率化**
- (3) 地域や個別需要家等の**エネルギー需要サイドの脱炭素化**

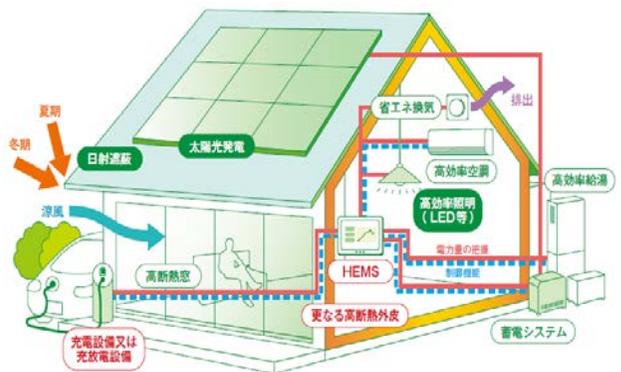
分散型エネルギープラットフォーム開催の背景とねらい

- 太陽光コスト低減、エネルギーシステム改革、RE100等の需要家の意識変化、レジリエンスへの求め、卒FIT太陽光の出現等、エネルギーを取り巻く状況が変化
⇒分散型モデルへの要請の高まり
- 再エネ主力電源化に向けて、**地域活用電源 = 分散型モデル**を前面に

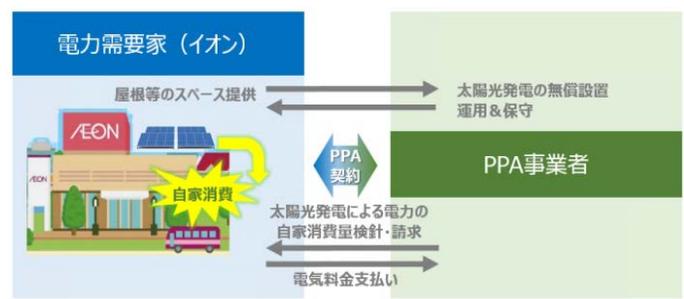


- 官民が連携して、**分散型エネルギーモデル**に取り組む上での課題分析を的確に行うと共に、関係する**多様なプレイヤー**が共創していく環境を醸成する。
- **「家庭」、「大口需要家」、「地域」**の需給単位ごとにディスカッションを実施。

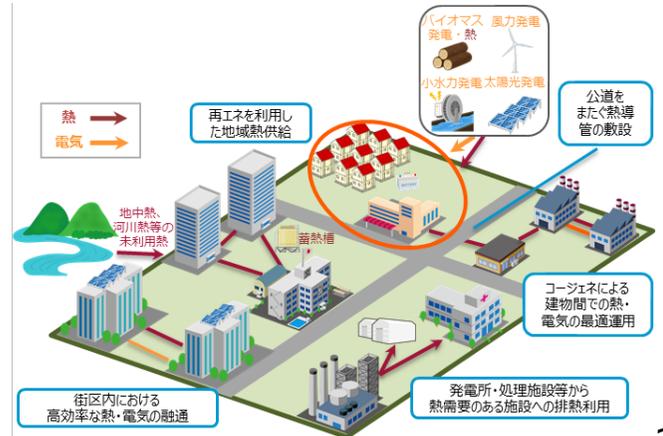
家庭 ZEH+ イメージ図



大口需要家 第三者所有モデル例



地域 エネルギー面的活用例



分散型エネルギープラットフォーム

第1回

- 2019年11月1日（金）14:00－16:30 @東京コンベンションホール
- 参加者：約**350企業・団体** 約**450名**
- 参加者の例：電力会社、ガス会社、電機メーカー、住宅メーカー、自動車メーカー、建設、通信、リース、商社、金融、**自治体**、**地域新電力**、学識経験者 等

プログラム

- ✓ 需給一体型モデルに取り組んでいる事業者・自治体の事例を紹介
- ✓ 第2回以降の意見交換テーマ案を提示
 - 家庭 × FIT売電に代わる選択肢の検討
 - 大口需要家 × 多様な需要家への普及
 - 大口需要家 × 自家消費しない余剰電力の取り扱い
 - 地域 × 地域の課題を解決する再エネ導入



今後の予定

- 第1回で提示したテーマ案、及びアンケートに基づいて第2回以降参加者を募集。
- 「家庭」、「大口需要家」、「地域」の各枠組みにおいて業種横断的に意見交換を実施。

(参考) テーマ案の紹介

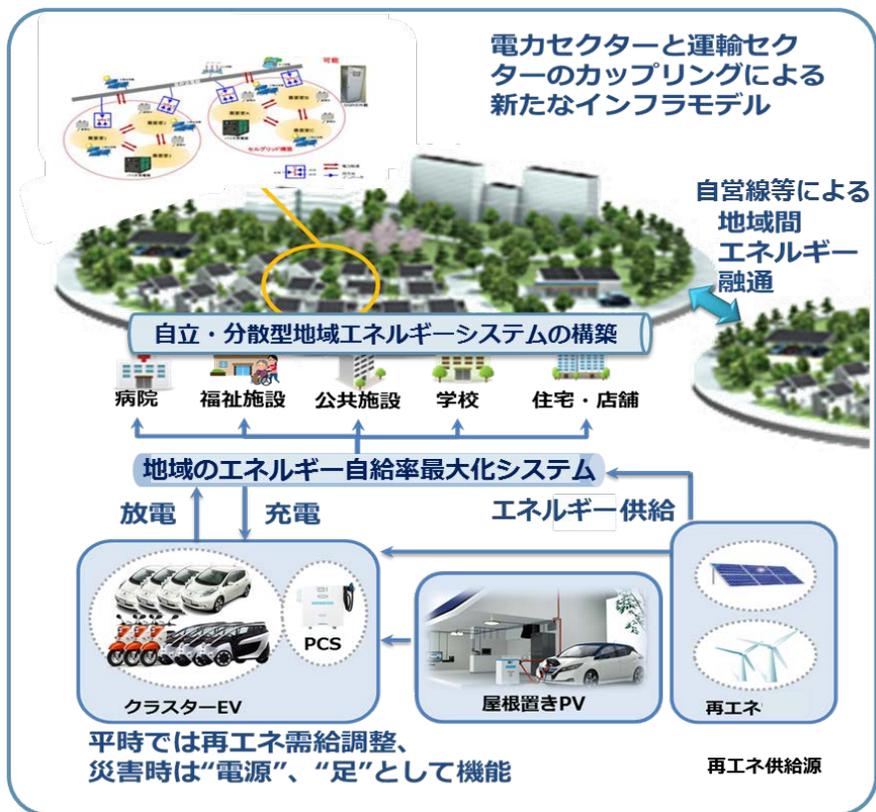
需給一体型の再エネ活用モデルの促進に向けて、以下のようなテーマでディスカッションを進めてはどうか。

	需要地	テーマ案
①	家庭	FIT売電に代わる選択肢の検討
②	大口 需要家	多様な需要家への普及
③		自家消費しない余剰電力の取り扱い
④	地域	地域の課題を解決する再エネ導入

(参考) ④ 地域 × 地域の課題を解決する再エネ導入

再生可能エネルギーと他の技術要素との連携により、地域経済活性化、レジリエンス向上、雇用の創出などの地域の課題を解決できる再エネ導入方法について検討してはどうか。

地域での再エネ導入の例



ディスカッション内容の例

サービスモデル	<ul style="list-style-type: none">• 経済的に成立するモデル構築の課題• 環境志向の企業誘致や地域金融機関との連携
技術	<ul style="list-style-type: none">• 既存の地域インフラを組み込む方法• 面的活用における蓄電技術や制御技術の利用
マーケティング	<ul style="list-style-type: none">• 経済循環、雇用創出等の地域課題への対応• 多様なステークホルダのマッチング
レジリエンス	<ul style="list-style-type: none">• 災害時の優先的な給電先など、運用の在り方
環境価値	<ul style="list-style-type: none">• 環境価値、防災価値など、付加価値のつけ方
手続き・制度	<ul style="list-style-type: none">• マイクログリッド構築にあたっての検討事項の整理

(参考) 第2回以降のイメージ

当日の
進め方

例. 需要地「大口需要家」 × テーマ「多様な需要家への普及」



- 需要地単位 × テーマ ごとに募集／参加登録
- 参加人数に応じてテーブルを複数設定
- ファシリテータの進行のもと、課題の整理と解決方向性を意見交換
- 同時にネットワーキングの場も提供

実施後

- 意見交換の内容を整理、集約（個社名と発言が結びつかない形を想定）

(参考) 今後のスケジュール

